

平成28年度事業報告(旧小澤家住宅)

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅 30,675,728円

1 文化事業(指定管理事業) 2,148,134円

「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する」という旧小澤家住宅の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 常設・企画展示事業 571,296円

【常設展】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介した。

【企画展】

道具蔵を使い、みなとまち新潟・小澤家に関連する展示を行ったほか、主屋・新座敷の館内全体を使った展示を行った。また、新潟市漆器同業組合、新潟仏壇組合、新潟ハイカラ文庫など地域団体と連携した展示・企画展を行った。

① 「小澤家の品々―台所道具」展

当館所蔵の台所道具を展示し、当時の富裕層における生活様式の一端を紹介した。

開催期間 平成28年4月1日～4月10日 9日間

観覧者数 284人 (うち有料観覧者224人、無料観覧者60人)

② 新潟漆器実技講座作品展「石目塗と萬代蒔絵」展

新潟の伝統工芸品「新潟漆器」の技法を学ぶ生徒の作品、併せて新潟漆器の食器を展示した。新潟市漆器同業組合との共催事業。

開催期間 平成28年4月12日～5月15日 30日間

観覧者数 1375人 (うち有料観覧者1187人、無料観覧者188人)

③ 「江戸時代の伊万里焼―料理を引き立てる器たち―」展

食器として使われた肥前磁器や新潟町から出土した肥前磁器の破片を通じて、豊かな感性を食器に取り込んだ日本の食文化の一端を紹介した。

関連企画として、江戸ソバリエの岸間健食氏を招いて、そば猪口に関する講演会(「絵解き謎解きそば猪口講演会Ⅰ」)を1回開催した。

開催期間 平成28年4月16日～5月15日 26日間

観覧者数 1260人 (有料観覧者1095人 無料観覧者165人)

④ 「絵解き謎解きそば猪口展」展

江戸期に流通し庶民の器として使われるようになっていったそば猪口。そば猪口のデザインの色面さや図柄に込められた意味を紹介した。

関連企画として、江戸ソバリエ岸間健食氏による講演会(「絵解き謎解きそば猪口講演会Ⅱ」)を1回開催した。

開催期間 平成 28 年 5 月 21 日～6 月 26 日 26 日間

観覧者数 1206 人 (有料観覧者 1034 人 無料観覧者 172 人)

⑤ 「屏風」展

館の風合いに併せ、新潟市歴史博物館協力のもと屏風を展示した。

当館の展示に合わせて、近隣の住民が旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会主催の「湊下町展 屏風篇」を開催し、店舗や一般住宅を一部開放して、住民所蔵の屏風を 7 月 8 日～10 日の 3 日間展示した。

開催期間 平成 28 年 7 月 3 日～7 月 10 日 7 日間

観覧者数 196 人 (有料観覧者 190 人 無料観覧者 6 人)

⑥ 「海のこともっと知ろう！ー海の生き物と漂着ゴミー」展

一般社団法人 JEAN の協力のもと、海と環境をテーマに日本の海岸に漂着するゴミに焦点を当てた企画展を開催した。

マリンピア日本海とのスタンプラリーも行い、2 館のハンコを集めた参加者にはくじ引きで景品を進呈した。(空くじなし・1 等賞品はテトラポットのぬいぐるみ)

開催期間 平成 28 年 8 月 21 日～8 月 28 日 7 日間

観覧者数 357 人 (有料観覧者 284 人 無料観覧者 73 人)

⑦ 「新潟漆器」展

新潟市漆器同業組合と共催した。江戸後期から明治期に制作された新潟漆器を道具蔵・寝間・通り土間・台所・藤ノ間・百合ノ間に展示し、竹塗りや錦塗りといった特徴ある新潟漆器の技法、漆器職人の高い技術など、新潟漆器の価値を広く市民に周知した。また、企画展と併せて、漆器製作の実演を 12 回、体験プログラムとして漆器制作体験を 12 回実施した。本町通の大橋屋では、関連企画として「夏の北前ランチ」を 8 月 23 日～26 日の 4 日間提供した。

当館の展示に合わせて、近隣の住民が旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会主催の「湊下町展 新潟漆器篇」を開催し、店舗や一般住宅を一部開放して、住民所蔵の漆器を 8 月 26 日～28 日の 3 日間展示した。

開催期間 平成 28 年 7 月 23 日～8 月 31 日 35 日間

観覧者数 1725 人 (有料観覧者 1349 人 無料観覧者 376 人)

⑧ 「古今東西ふろしき百」展

むかしの生活用品のひとつ「ふろしき」の意匠、様々な使い方について、戦前から現代までのふろしきを展示し紹介した。

関連企画として、「ふろしきや」店長によるふろしき講座も 2 回開催した。

開催期間 平成 28 年 9 月 3 日～9 月 30 日 25 日間

観覧者数 1026 人 (有料観覧者 996 人 無料観覧者 30 人)

⑨ 「新潟仏壇」展

新潟仏壇組合と共同主催で開催し、仏壇やパネルを展示することにより、新潟市内で生産されてきた新潟仏壇の歴史や職人の技術について紹介した。

関連企画として、金具打ちによるネームプレート作りを 2 回、蒔絵によるネームプレート作りを 1 回、伝統工芸士による蒔絵の実演を 2 回行い、来館の動機付けを行った。

また、新潟落語会会長 水都家艶笑さんによる落語口演会を 1 回行った。

開催期間 平成 28 年 10 月 8 日～11 月 3 日 24 日間

観覧者数 1029 人 (有料観覧者 739 人 無料観覧者 290 人)

⑩ ボランティア企画「廻船問屋のまち—上大川前通—」展

館ボランティアが中心となって行った企画展。館に接する上大川前通の歴史について、会議を重ね企画。町並みや通りにゆかりのある事物や歴史など、地図資料や写真パネルを制作し展示した。

開催期間 平成 28 年 11 月 19 日～平成 29 年 2 月 12 日 60 日間

観覧者数 2,107 人 (有料観覧者 1,534 人 無料観覧者 573 人)

⑪ 「猫まつり」展

猫にちなんだイベントを開催し、猫関連の資料を展示した。

関連企画として、BarBookBox のバーテンダーの案内によるブックトークパーティーを 1 回開き、猫に関する本について語り合った。

猫の絵のどらやき、焼き物や蒔絵の猫など、市民が制作している猫のグッズも委託で販売した。

開催期間 平成 29 年 2 月 7 日～平成 29 年 2 月 17 日 9 日間

観覧者数 471 人 (有料観覧者 436 人 無料観覧者 35 人)

⑫ 「ひな人形とからくり人形」展

当館所蔵の雛人形とともに個人蔵の明治・大正期の雛人形や江戸時代のからくり人形を道具蔵や藤ノ間で展示紹介した。また、旧小澤家住宅手芸部が制作した、小澤家に残っていた着物の端切れで作った吊し雛も台所に展示した。

関連企画として、ひな人形作り体験を 1 回、からくり人形の実演を 4 回、箏と尺八の演奏会を 1 回開催した。

開催期間 平成 29 年 2 月 19 日～3 月 12 日 19 日間

観覧者数 658 人 (有料観覧者 614 人 無料観覧者 44 人)

⑬ 「白を贈る文化」展

株式会社横正機業場、植物染め浜五の協力を得て、小澤家に残されていた白生地等を展示した。

3 月 20 日にはイベントも開催し、白生地を贈り合うというかつての文化を紹介しながら、現代の織物、染め物等についても知ってもらった。

開催期間 平成 29 年 3 月 18 日～3 月 26 日 8 日間

観覧者数 325 人 (有料観覧者 276 人 無料観覧者 49 人)

⑭ 「小澤家の品々 —東京奠都三十年図絵—」展

小澤家に残る色鮮やかな「東京奠都三十年図絵」を展示し、京都から東京に都が遷って三十年経た当時の時代的雰囲気を紹介した。

開催期間 平成 29 年 3 月 18 日～3 月 29 日 10 日間

観覧者数 360 人 (有料観覧者 306 人 無料観覧者 54 人)

(2) 教育普及事業 71, 131円

各種プログラムとして、漆器制作体験・金具打ち体験・からくり灯籠制作体験、フラワーアレンジメント体験、ひな人形作り体験、からくり人形実演、講演会などを実施した。

① 絵解き謎解きそば猪口講演会 I・II (4 月 23 日・5 月 21 日)

岸間健食氏を講師に招き、そば猪口の楽しみ方についての講演会を実施した。

② 庭園講習会 全2回 (6月12日・11月19日)

長生園の田辺良夫さんを講師に迎え、当館の庭園を鑑賞しながらツツジや松といった庭木の手入れ、冬囲いの方法などを学ぶ講習会を実施した。

③ 「新潟漆器」展「製作体験」(7月24日・31日・8月7日・11日・12日・13日・14日・15日・21日・23日・25日・26日)

「新潟漆器」展の関連企画として、沈金絵付や箸の研ぎ出し体験を行った。

④ 「新潟仏壇」展「製作体験」(10月9日・10日・11月3日)

「仏壇」展の関連企画として、金具師の指導により金具打ちと蒔絵技法の体験を行った。

⑤ 落語口演会 (10月23日)

「仏壇」展の関連企画として、水戸家艶笑氏を招いて落語の口演会を行った。

⑥ 稲穂でつくる正月飾り (12月11日)

「新潟アグリクラフトから講師を招いて稲穂等の自然の素材による製作体験を行った。

⑦ 「びっくり！江戸の変身からくり人形」 全4回 (12月3日・12月4日)

越後大郷からくり館の館長日根之和氏を招いて、からくり人形の実演を行った。

⑧ 箏と尺八の演奏会 (2月25日)

「ひな人形とからくり人形」展にあわせて、箏と尺八の演奏会を行った。

⑨ 「稲わらで作るひな人形」(2月26日)

「ひな人形とからくり人形」展にあわせて、稲わらなど自然の素材を使ったひな人形の製作体験を行った。

⑩ 「からくり人形実演」(3月4日・5日)

「ひな人形とからくり人形」展にあわせて、からくり人形の実演を行った。

⑪ 講演会「新潟の観光と歴史」(3月18日)

新潟県副知事寺田吉道氏を招いて新潟の「観光」について講演を行った。また、あわせて館員により新潟の歴史についての概説を行った。

⑫ 博学(産)(民)連携

小・中学校については、総合学習の要望に応え、みなと町にいがたの歴史と旧小澤家住宅との関連について解説を行った。このさい地域コーディネーターと連携を図った。

新潟大学工学部建設学科建築学コースの学生および本町商店会、旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会とともに「しも町」の賑わいと活性化を目的とした連携事業を展開した。景観を活かした町づくり、旧小澤家住宅並びに一部本町商店街のライトアップ、茶処「藤乃花」の営業、「しも町」をアピールするための広報活動、「しも町」を元気にするための組織作りなど学生による諸々の提案に対して助言を行い、事業の集大成となる「きなせや下町」というイベントを1月28日に実施し、旧小澤家住宅を拠点に、おいに地域を盛り上げた。

⑬ ボランティア育成

ボランティア企画「廻船問屋のまち—上大川前通—」展の開催に向け準備作業を行った。

(3) 施設普及事業 1,180,519円

季節に合わせたイベントや講座などを催し、来館の動機付けを行った。また、簾戸の入替や正月の飾り付けなど、折々のしつらいで来館者を呼び込み、旧小澤家住宅でのさまざまな楽し

み方を提案した。

さらに観覧者アンケートを実施し、来館者のニーズの把握にも努めた。

① 山野草の展示（4月22日～5月10日）

下本町商店街の「花や木下」さんの協力を得て、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

② 夏至祭（6月18日、6月19日）

夏至の日に合わせて開催。DAIDOCO、TAIBOW COFFE、BarBookBoxの協力を得て、かき氷やお菓子、軽食、ラテ、日本酒やカクテルを提供し、松の間で飲食ができるようにした。

金子まゆさんによる、簪女唄の演奏も行った。また、特別夜間開館や非公開部分の公開、庭園および通り土間のライトアップも行った。

ちょうど父の日だったため、家族で来館した父親には記念品を進呈した。（漆塗つまようじ）夏の町家の雰囲気盛り上げるため、和服での来館者は入館料無料とした。

③ フレッシュ本町まつりスタンプラリー（7月24日）

フレッシュ本町まつりに合わせて、入館料を無料にした。

入船地蔵尊・フレッシュ本町とのスタンプラリーも行った。

④ ワインの昼べ（11月5日）

（株）ホクセイ社長でもある、ワインコーディネーター星野隆氏を講師に迎え、文化財の雰囲気の中でワインの楽しみかたを学んだ。

⑤ 応接セットの展示（10月28日～11月17日）

藤の間に応接セットを設置し、かつての様子を再現した。

⑥ 秋の大文化祭（11月23日）

勤労感謝の日に併せて、市民によるライブ演奏、SugarCOATによる紅茶とお菓子の販売、6/7によるパンの販売、BarBookBoxによる日本酒・カクテルの販売などを行った。

旧小澤家住宅のボランティアガイドを中心としたマーケットでは、焼き物や絵、家具、蒔絵の作品などの展示販売を行った。小澤辰男氏の遺品であるネクタイや、小澤家に残された着物地を使って作った小澤家手芸部の作品なども販売した。

非公開部分の公開や、特別夜間開館も行った。

当イベントに併せて、旧小澤家住宅向かいの小澤商店では、当館ボランティアらがおでんの販売を行った。

⑦ 花で彩る（1月14日～1月22日）

フラワーアレンジメント教室「水曜日のお花の会」の協力により、薄暗くなりがちな冬の旧小澤家住宅を色とりどりの花で彩った。

1月15日には、「水曜日のお花の会」の先生によるフラワーアレンジメント体験講座も行った。

⑧ 日本酒の昼べ（3月25日・26日）

Bar Book BoxのJun氏を招いて、文化財の雰囲気の中で新潟県内および県外の日本酒の楽しみかたを学んだ。

今回は和食・洋食両方のおつまみを用意して、日本酒との合わせ方を研究し、また、お燗のつけかたも練習した。

(4) 調査研究事業 160,786円

小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、小澤家や湊町新潟の歴史について市民の理解を深めることを試みた。

また、その成果を「小澤家の品々」展などで展示紹介した。

- ① 旧小澤家住宅周辺に残る歴史的町並みを保全・活用し、地域の活性化に寄与することを目的とした「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」の活動に賛助会員として参加した。
- ② 館ボランティアとともに小澤家が接する上大川前通の調査を行い、その成果を企画展として公開した。

(5) 収蔵資料保存管理事業 164,402円

前年度に引き続き引き渡された資料と台帳データのつきあわせ作業を行い、確認作業を行った。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 28,527,594円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤の間・百合の間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行った。

※ 平成28年度旧小澤家住宅入館者数 15,795人